

省エネルギー時代来る！ 錐振電直70型バイブレーター

三笠ニューズ

発行所

東京都千代田区猿樂町1-4-3

三笠産業株式会社

電話 東京(292)1411 大代表

テレックス 222~4607

郵便番号 101 番

PR旬報 年4回発行



(長野県富士見町の現場にて、錐振電直70型バイブレーター)

七月二十五日の、場所は八ヶ岳の山麓、山梨県との県境に近い長野県富士見町で砂防ダム工事を行なっている木下建設さんの現場。
真夏の太陽が照りつけるなかでコンクリートの打込みは続けられていました。
スランプ6cm、骨材の大きさは平均は約40mm、生コンクリートがホッパーのシュートから勢よく吐出されると、約5m四方の範囲に一度に拡散する。このなかには錐振電直70型の振動筒を「ヨイショ」とばかりに差し込むとコンクリートの山はみるみるうちに崩れて平らになり、広い範囲に振動が伝播していることを示すように気泡の浮き上がりが認められました。

従来、ダム工事等の現場ではエアーマーター駆動の振動筒直径70mm以上の強力なバイブレーターが使われていて、これを回すためには30PSクワースのエンジンをつけたエアークラッシャーが使用されていたが、それが単相100Vの整流子モーターを直結しただけで使えると言ふことは、まことに驚異的とも申せます。
省エネルギーの叫ばれている昨今、動力の使い方としても100Vの電源さえあればこの錐振電直70型が使えるというところは見逃すことのできない大きな利点と思われれます。
錐振電直70型の整流子モーターの入力は1.43kWなので電源の無い所ではMEP1700型三笠小型発電機を使ってこれを回すとすると、5PSのガソリンエンジンですみますので運転経費はエアークラッシャーを使うのに比べ大変安上がりとなるのは申すまでもありません。
現場の人達の評価は、今まではモーターでまわすバイブレーターも使っていたが、これに比べ錐振電直70型の方がだんぜん力が強く感じました。そのうえに目方も軽いし、強力な振動の割に手許への振動がないので仕事に楽にはかどることでした。

三笠ニューズの第66号(本年七月八日発行)で、ダム工事や護岸工事等の大量のコンクリート打設工事向の太くて強力なバイブレーターとして錐振電直70型を発表しました。
単相100V出力90Wの整流子モーターを直結したこのバイブレーターは、発売以来各地で実用に供され、従来のものと比較でも軽く振動が強くしかも手許への振動はないとの評価を得ています。
これらのなかの一つの現場で見聞したことを、営業部地方課より寄せて来ました。

この目方が軽いということは足場の悪いコンクリート打設現場での扱い易さの点では大変プラスになっていることは否めない事実であり、このことは見ている我々にもハッキリと判りました。
錐振電直70型を使ってコンクリートの締め固め作業をしたこの現場の人の感想は、
「この目方が軽いというところは足場の悪いコンクリート打設現場での扱い易さの点では大変プラスになっていることは否めない事実であり、このことは見ている我々にもハッキリと判りました。」
錐振電直70型を使ってコンクリートの締め固め作業をしたこの現場の人の感想は、
「この目方が軽いというところは足場の悪いコンクリート打設現場での扱い易さの点では大変プラスになっていることは否めない事実であり、このことは見ている我々にもハッキリと判りました。」



き得ればモーター自体のキャブタイヤコードの長さは10m以上は付けて欲しい。
これらのご意見は早速に技術研究所へ伝えて、できるものから早速に処置をとって貰いましたので速次製品に反映されると思います。
尚、この立会試験をした後、長野県内に於いては早速に錐振電直70型が砂防ダム工事に使用され、この数は日を追って増加し、大きな骨材を使った硬練りのコンクリートの締め固め威力を発揮していることを申添えてこの報告を終わります。
—松沢記—

建設機械展示会

10月9日(火)~14日(日) 東京都晴海埠頭

建設機械展示会開催 十月九日(火)~十四日(日) 東京都中央区晴海埠頭前広場。三笠新製品を展示実演します。

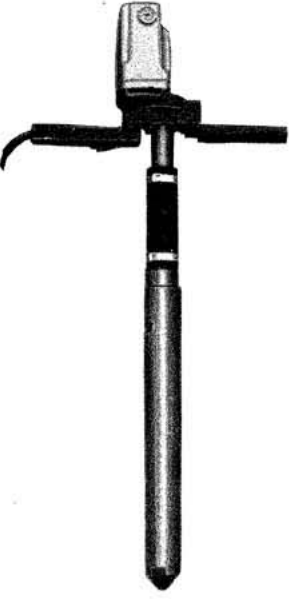
10月9日(火)~14日(日) 東京都晴海埠頭前広場。建設機械と施工法シンポジウム。

錐振電直70型の機構について

錐振電直70型はモーターを原動機として使っています。
単相100V出力90W、目方が軽く出力の大きい整流子モーターを使い、これを減速歯車を介し回転を落とし振動筒に接続させています。
振動筒のケースやヘッドキャップは、特殊鋼で造られ肉厚を充分にとっており、これに熱処理を施してあるので優れた耐摩耗性を持っているのがこのバイブレーターの特長の一つです。

仕様		型
型	式	錐振電直70型
振動筒の寸法	径	69%
	長	560%
全振幅	長	1035%
	幅	2.2%
振動数		10,000~11,000V.P.M
使用モーター		整流子モーター 960W 100V
概重量		21kg

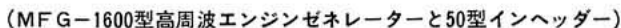
従って優れた工作精度と相まって、内接振動運動をする振子軸の滑りが少なく、高い振動数を生じ、摩耗の減少にも役立っています。
サービス性の向上についても考慮が払われて、分解・結合が比較的容易な構造となっています。
錐振電直70型の振動筒とモーターとは、短いフレキシブル軸で結ばれていて、これで動力を伝達しています。
フレキシブル軸はゴムホースで保護されて、更にその外周はスチールワイヤ入りのゴムホースで被覆されています。このゴムホースは曲げに対する復元力が強く、モーターのグリップハンドルを持って振動筒を強く押さついても曲ってしまうようなことはありません。
ゴムホースの部分振動を吸収する役目もしているため、振動筒で発生した強力な振動はこの個所で遮断されて、モーターや作業をする人の手許に伝わりません。



錐振電直70型

小型の高周波エンジンゼネレーター

MFG 一六〇〇型 登場



を使い度くとも電源がとれないような場所でのコンクリート工事に寄与しております。

今回発表のMFGⅡ一六〇〇型はこれらの弟分とも言うべき大きさのもので、MFGⅡ二五〇〇型より外形寸法、重量ともにひとまわり小さくなっています。

同時に使うことのできるインヘッダーの本数はMFGⅡ二五〇〇型に比べそれぞれ一本づつ少くなっています。即ち40型インヘッダーの場合は3本、50型で2本、60型は1本をのみ使用することができます。

三笠のインヘッダーは周波数の異なる地域でも充分に性能を発揮できるよう設計上の配慮がされています。

電話線埋設工事で真価を発揮
群馬県内で活躍する
MVC-300型
バイブロコンパクター



これに合わせて高周波エンジンゼネレーターも50Hz地域向には200Hz、60Hz地域向としては240Hzの周波数を発生する二種類のものが用意されています。

発生電圧は負荷の変動に拘らず48Vの安全電圧を保つような構造がとられています。

また過負荷の際にはノーヒューズ・ブレーカーが働いて焼損事故を防止するようになっていきますので安心してインヘッターをお使い頂くことができます。

インヘッターの普及はこのところ目覚ましいものがあり、新しい時代のコンクリートバイブレーターとしての従来のものに取って替わる時期も、さほど先のことでないと思われるほどの勢いです。

どうか、三笠高周波エンジンゼネレーターで軽くて使い易いインヘッターをお使いください。

路盤の締固め等の基礎帳圧作業向けの重量級コンバクターとして、昭和52年に発表されたMVCⅡ300G型およびD型の二種類のパイプロコンバクターが、三笠館林工場の地元群馬県一帯での電設関係工事で行われている。

話は一昨年に遡る。代理店訪問の際しばしば見受ける修理中の外国製コンバクターの使用先や作業内容等の話を聞いたことが、そもそもMVCⅢ300型売込の端緒となったと言えよう。

このような一寸したきっかけで奥利根の湯の街を訪ね、水上町の関谷工業さんにMVCⅢ300G型一台を53年一月に納入した。

これが群馬県内に於ける300型コンバクターの第一号機だった。

関谷工業さんには池野通信建設㈱の仕事をお願いして電話ケーブルの敷設を行っている。

式起振装置が組込まれ、これを高速で回転させ大きな遠心力を発生している。

締固め能力はMTRⅡ80H型ランマーに比べても遜色なく、帳圧盤の幅も大きく、作業速度も早いのでランマーより能率の向上をのぞむことができる。

電話線を通す管を埋設した溝の底部の埋戻しには、ランマーを使って管の周囲をていねいに締固める。

それから地表にかけての締固めはMVCⅢ300G型の登場となり、30cm程の厚さで入れられた碎石を帳圧し、最後には表層のアスファルト仕上げまでもやってのける。

MVCⅢ300G型およびD型には帳圧盤の左右にエクステンション・プレート(補助帳圧盤)を取付けて、締固め幅を400mmから600mmに広げることができ、溝の幅に対応した使い方も可能である。

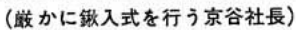
MFG-1600型仕様	
出力	1.6KVA
電圧	48V
電流	19A
相数	3φ
周波数	200/240Hz
定格	連続
エンジン	空冷4サイクルガソリン
最大出力	5 PS/4000r.p.m
定格出力	3 PS/3000r.p.m
	3.5PS/3600r.p.m
始動方式	リコイルスターター
外形寸法	高 475mm、幅 430mm、長 580mm
重量	52kg

特に宣伝したわけではなかったがいわゆる「くちコミ」で電設関係の業者間にMVCⅢ300G型の性能はいつの間に広まっていた。53年には前橋市の群馬通信建設さんにMVCⅢ300G型一台が採用となり、続いて翌月に勢多郡宮城村の中沢工業さんと同じく300G型一台を納入した。

MVCⅢ300G型および300D型パイロ・コンパクターは軽量級のプレート・コンパクターとは、その使用目的が異なる、主に路盤の基礎締固めに使われるので、コンパクターの心臓部である起振装置には上下振動を発生して土を締固めるよう二軸偏心

三笠産業仙台出張所

八月二十二日 地鎮祭行なわる



三笠産業の仙台出張所は事務所と倉庫を仙台市卸町五丁目一番に新築することとなり、渡辺建築事務所はその設計を依頼し、馬淵建設(株)東北支店が工事を請負って、このほど着工の運びとなった。

現場では馬淵建設の手に依り午前中から準備が進められ、既に天幕が建てられ紅白の幔幕が張り廻らさわれている。

者一同にてお祝いと親睦の宴を設けた。

—大沢記—



これに先立ち大安吉日を選んで八月二十二日(卯)午後三時より建築現場に於いて、地元代理店、銀行等の方面をお招きし、三笠産業本社代表者に出張所より京谷社長はじめ代表者が出席して、設計事務所、建設会社のそれぞれ代表が参列し地鎮祭が厳粛にとり行われた。

この日仙台地方は早朝より激しい雨に秋舞われていたが、間もなく止んで秋を思わせるような青空ではあるが相変らずの残暑となった。

雨降って地固まるの諺そのままのような、今日の地鎮祭にふさわしいお天気の変わり具合だが、我々関係者

開始三十分前の午後二時半頃には、つじヶ岡天満宮より神官が到着。四隅に笹を立て、注連縄を廻らせた。たまたかに祭壇を設けて、地鎮祭の用意を整った頃には参列される方々がつぎつぎにお見えになり、お互いに挨拶を交しておられる。

定刻午後三時を五分程遅れて馬淵建設神山次長の進行に依り、地鎮祭式典は始められた。

祝詞奏上、切麻穀米と儀式は厳に進められ、献入の儀は設計を担当した渡辺建築事務所の渡辺所長が鎌三笠産業京谷社長が鍬、馬淵建設北支店の西尾支店長が鍬を手にして

（つ）つじヶ岡天満宮の神官に依り地
（鎮）鎮祭はとり行われた



実際にMVCⅢ300G型を使っている感想としては、「力は強い、締固めるの能率が上がったのがハッキリと判る」との声を聞いている。

このようにしてMVCⅢ300G型が月を経るごとにその数を増し、群馬県内の各地に納入することができた。

このうち柳建設さんにはHATZディーゼルエンジン付のMVCⅢ300D型を納入した。

この傾向は54年も継続し、この間さほどトラブルもなく、八月現在で同方面だけで10台近くの数量を数えるまでに達したことは真に喜ばしい。

次第であり、最近では工事現場から大規模なMVCⅢ300型に対する要望が多いためか、既に購入してお使い頂いているところからも追加購入のお話もあって、担当者としてはこれに一度層の力を入れて、MVCⅢ300G型お

	仕	様
型 式	MVC-300G型 (MVC-300D型)	
機体の寸法	長 2,010%	高 965%
輾圧盤寸法	長 830%	幅 460%
振 動 数	2,700V.P.M	
速 度	18m/min 前後進とも	
輾 圧 力	8~10ton ローラーに匹敵	
エ ン ジ ン	ロビンEY25-2D (HATZ ES-75) 7PS空冷ガソリン 6PS空冷ディーゼル	
概 重 量	340kg (370kg)	
注.	()内はディーゼル仕様	

よびD型の良さを知って頂き、広くお使い下さるよう望むものであります。

— 永山記 —

三笠バイブレーター祭り行なわる

主催 中道機械(株)

三笠の北海道地区に於ける有力代理店である中道機械(株)主催の三笠バイブレーター祭りが八月二十日より道内各地で開催され、バイブレーターを中心にランマー・プレートコンパクター等三笠の主な製品を展示即売すると同時に三笠の技術員による技術指導・無償点検が行なわれ好評を博しました。

南まわり第一班・第二班
(函館、室蘭、苫小牧、静内)

南回りの道南地区の三笠バイブレーター祭りは、八月二十日より九月一日まで中道機械(株)の全面的な御協力を得て函館、室蘭、苫小牧、静内の各支店、営業所を巡回して開催されました。

開催期間中は、さいわい好天に恵まれ、素晴らしい展示会日和であった。展示時間も朝六時より夜八時までとしたため、大手ユーザーを始め地元中小ユーザーに至るまで幅広くご来場を仰ぐ事が出来た。また、当日追込み工事等の為お越し頂けなかったお客様からも電話で御注文を頂き、中道機械(株)の御努力の程がうかがわれました。



展示会は「バイブレーター祭り」という事から、バイブレーターを一通り出品し、中でも高周波バイブレーターが北海道のように広大な地域の工事には最適である所から大変な人気を集めました。

また新製品の振振N46型バイブレーターの強力な振動と、手許には振動の伝わりやすい便の良さが、電直N28型バイブレーターなどと共に好評を得て早速御注文を頂きました。

(静内会場)
南まわり第三班 (滝川・恵庭)

八月中旬より始まった三笠バイブレーター祭りは、九月三日、四日の滝川支店、六日、七日の恵庭営業所の展示会をもって無事終了した。

今回の三笠バイブレーター祭りは、目玉としての三笠製品の特別価格、技術員による無償点検及び修理はもとより、ユーザーとメーカー、それと結びたいユーザーと三者による対話の場として頂く事を目的として開催された。



全体として訪問客の数は我々が期待したよりも少なかったが、それでもセブローラーを始め、バイブレーター、プレートコンパクター、水中ポンプ等数々の御注文を頂く事が出来た。

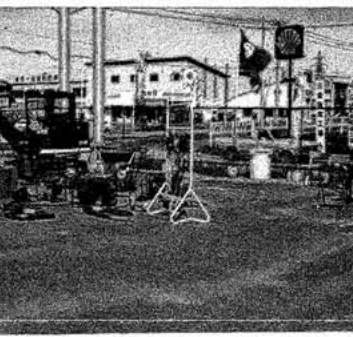
これも中道機械(株)さんのご協力の賜物と感謝する次第です。

札幌出張所 堀江記
北まわり第一班・第二班
(帯広、釧路、北見、旭川)
北回りは八月二十一日の帯広営業

ラスチックを使用して衝撃にも強く、ボデーにコンクリートが付きにくくした新軽便バイブレーターが建築業者さんなどに人気を博しました。

バイブレーター祭りの一つのメリットでもある、アフターサービスの場所にバイブレーターを始め、ランマー、プレートコンパクター、カッター類を持込んでこられた方に対して、技術相談・指導を行ない、業者さんとの交流を深めました。

このお祭りでは、バイブレーターを始めランマー、プレートコンパクター、ローラー等多数の注文を受けることとなり、業者さんとの交流を深める事が出来た事は意義ある展示会であった。



札幌出張所 神田記

新製品である振動ゴテなどは非常にアイデアに富んだ製品であるとともに、使い易い方によってもっとおもしろいバイブレーターになるのではないかと、二次製品業者さんに、大うけであった。

中にはどうしても、すぐに使いたい、展示品を買って行きたい、翌日又二台目の注文をされた業者さんもおられた。

また新電直も他メーカーの同タイプの物と比較しても、力が強く、手許にくる振動が少なくとの事で好評であった。

札幌出張所 神田記

最近高周波バイブレーターもかなり知られてきたためか、かなり鋭い質問をされる業者の方も、おられるほどであった。

新製品であるエンジン・ゼネレーターが出現したことにより、今まで必要だった発電機がいらないことになり、これを他の現場へ回せるので、業者さんにとっては大きなメリットであるために多くの土木業者さんから注目を集めた。

その他、モーターケースに強化ア

札幌出張所 神田記

第7回 社員海外視察旅行記 (シンガポール・バンコク・ホンコン) ミツ木班



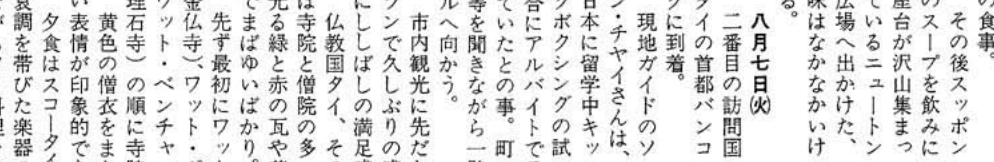
恒例となった海外視察旅行も今回は渡辺・峯岸の女性二名を含む、技術研から三ツ木・戸喜納・松沢、合計七名でシンガポール・バンコク・香港と五日六日の旅へと出発した。

八月五日(日) 不安と期待に胸を膨らませた我々を乗せた飛行機は、定刻より三十分遅れてシンガポールへ向け大きな機体を飛び立たせた。

途中、台北・香港を経由し、夜のシンガポール空港へ無事到着。

満天の星空を期待したが、あいにくの曇り空。椰子の木と熱気が異国を感じさせてくれた。

八月六日(月) いよいよ市内観光だ。先ず目に付いたのが街路樹の鮮やかな緑と女性の姿。



多岐民族の集まりであるだけに美しい。その後スポンのスイーを飲み、屋台が沢山集まっているニーストン広場へ出かけた。味はなかなかいい。

八月七日(火) 二番目の訪問国タイの首都バンコクに到着。

現地ガイドのソニチヤイさんは、日本に留学中キックボクシングの試合にアルバイトでテレビにも度々出ていたとの事。町の様子人々の生活等を聞きながら一路ドウシタニホテルへ向かう。

市内観光に先立ち、市内のレストランで久しぶりの感じで日本食を口にしたい。満足感を味わった。

仏教国タイ、その中でもバンコクは寺院と僧院の多い町。南国の空に光る緑と赤の瓦や黄金の尖塔は荘厳でまばゆいばかり。

先ず最初にワット・トリミット(黄金寺)・ワット・ポー(ねはん寺)・ワット・ベンチャヤボット(大理石寺)の順に寺院を観光。

黄色の僧衣をまとった僧侶の厳しい表情が印象的であった。

夕食はスコタイレストランにて、哀調を帯びた楽器の音色に耳を傾けながらタイ料理を満喫。その後タイ古典舞踊を観賞し、エキゾチックなタイの一日が過ぎていった。

八月八日(水) 小雨の朝を迎える。

早朝七時より水上マーケット観光に出発。

茶褐色のメナム河、兩岸に立つ水上生活者の家、その中で暮らす人々、果物を売りにくる人、すべてが珍しい光景である。

途中無数の陶片が陽を浴びて光り輝く、バンコク最古の寺といわれる宝石の塔、ワット・アルン(暁の寺院)を観光しながら水路は終る。

一変してここは絢爛豪華な宮殿王宮である。映画「王様と私」が思い出される。

続いてワットプラケオ(エメラルド寺院)・季節ごとに王自ら衣の着せかえをなされる緑の石像が純金の台座に安置されている。

その後オアショナルツアールとして、ロースガーデンを訪れ、民俗舞踊、武芸ショー等半日観光を楽しんだ。

八月九日(木) サワテックラップ(さようなら)とバンコクを立ち、最後の訪問国香港へと向かった。香港はいくくの雨、それでも霧の晴れ間から一時見えたランチョンロードの展望台からの全景のすばらしさ。

(ワット・アルンにて、右から戸上、片谷、松沢、喜納、三ツ木、渡辺、峯岸)

中道機械(株) 道北総合センター落成



滑川支店長と中道機械(株)道北総合センター

八月二十二日、中道機械(株)の道北総合センターが落成しました。総合センターの所在地は旭川市永山三条七丁目八十六番地、此の場所は旭川でも、産業地区として急速に発展している永山通りを面しており、中道機械(株)のあきやかな看板は遠くから目立ち、立地条件に恵まれた所です。敷地千八百八十七坪、事務所百三十二坪、製品倉庫及び修理工場二百七十五坪とかなり大きなセンターです。

新社屋には中道機械(株)旭川支店、同社サービス事業部およびレンタル事業部、中道リース(株)旭川営業所が入居しています。滑川支店長のもと道北一帯の機械の円滑な供給とサービス体制の充実強化が図られました。敷地内には常設の展示場があり、お客様が気軽に製品を見て歩けるようになっています。

道北総合センターが完成したことにより、三笠製品の即納体制がより整い、道北地域への一層円滑な供給ができるようになります。

今後益々素晴らしい業績を挙げられる事を御期待申し上げる次第です。

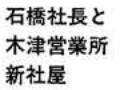
札幌出張所 神田記

三笠産業 提供(月・水・金)

プロ野球 ニュース

8 フジテレビジョン

午前6:40~7:10



三笠建設機械 江口記

